



開物成務

令和 8 年 7 月 1 7 日 (金) 発行

校長 大越 泰子

夏休みが始まります

今年度から2期制となり、最終日まで給食がありました。また、あゆみもないため、いつもとは雰囲気が少々異なる夏季休業の始まりです。

例年だと、学期末のまとめや課題の整理に追われる時期ですが、今年は最後まで学習や活動が行えるため、ゆったりとした雰囲気が流れています。保護者の皆様の側から見るといかがでしょうか。あゆみ等の区切りがなく、休み前に「喝!」が入れにくいというお声もある一方、休み中のがんばりが9月に反映されるという良さもあると思います。休業前に行った4日間の面談では、各担任から4ヶ月間の振り返りと、今後の課題について話があったことと思います。「課題」は「期待」と捉えていただき、お子さんを励ましていただきたいと思います。

本日のオンライン朝会で子どもたちとした約束は「8月31日に元気な笑顔で会いましょう。」です。よい夏休みをお過ごしください。

足柄ロータリークラブ様より 本を寄贈していただきました

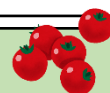
去る6月19日(金)に南足柄のおんりー湯で寄贈式が行われ、岡本小、福沢小の校長と共に目録をいただきました。

現在、先生たちのおすすめの本を中心に購入計画を立てています。本を手取るきっかけとして、人からのおすすめはとても有効です。新たに図書室に配架されるのを楽しみにしていきましょう。

校内研究会

6月24日(水)にかいせい学級、6月30日(火)に2年2組が授業公開を行いました。かいせい学級の授業では、運動に合わせて力の強さを調節する力を育成しました。2年2組の授業では、マット運動遊びでアドベンチャーをより楽しくするために、グループで試行錯誤をする様子が提案されました。授業後の協議も活発に意見が出されました。今後も魅力ある体育の授業をめざし研鑽をしていきます。

吉田島高校との連携事業



開成町では、町内の幼稚園、小学校、中学校、高校の連携した取り組みが盛んにおこなわれています。2年生は、野菜作りについて都市農業科の学生さんから、トマトの芽かきの仕方について教えていただいたり、高校の農園でトウモロコシの収穫をさせていただいたりしました。また、5年1組は、総合的な学習で、「開成町の野菜を使った加工品や販売について食品加工科の1年生とコラボした取り組みを行いたい。」という願いを持ちました。そこで、実際に吉田島高校へ行って、食品加工科の高校生に向け自分たちの計画についてプレゼンを行いました。2年生も5年生も、高校生との触れ合いの中で、子どもたちの新たな一面が見られました。今後の連携した取り組みの中でさらにどんな姿が見られるかとても楽しみです。

トウモロコシの皮むき

開成町の名物の一つに白いトウモロコシ「ホワイトショコラ」があります。生産者の一人で保護者でもある宮上さんのご厚意により、毎年学校給食に出させていただいています。当日は、2年生に朝皮むきをしてもらいました。宮上さんたちから、ホワイトショコラがどのように作られているのかを説明していただき、みんなで皮むきをしました。「バナナみたい!」「パリパリ音がする。」など、すてきな気づきがありました。皮をむいたホワイトショコラは給食室へ運ばれ、調理員さんたちが心を込めて調理してくれました。関わった人々や自然の恵みに感謝しておいしくいただきました。宮上さん、文命農業の皆様ありがとうございました。



なかよし班遊び

7月9日の長昼休みに今年2回目のなかよし班遊びを行いました。班のメンバーもわかってきて、だんだんチームとしてまとまってきたところ。各教室に分かれて遊んでいる様子を見に行きました。6年生は、「いつも同じような遊び」という反省をふまえて、「下級生も一緒にみんなで楽しめる遊びを」と考え工夫して準備をしていました。お玉リレーや、文字ならべなど新しいゲームが増えていました。中には、「準備した遊びが難しすぎて、違う遊びに変わっちゃった。」とこぼす班長がいましたが、それこそが、すばらしい!!みんなの様子に合わせて柔軟に変更できる対応力。すてきな力が身についていますね。



新聞文字さがし
リーダーが言った文字
を新聞の中から探す。早
く見つけた方が勝ち!

三秒お絵描き
三秒たった次の人と
交代。リレー方式で絵
を描きます。お題は?



マックスバリュ開成店 見学

7月3日(金)に3年生が見学に行かせていただきました。スーパーで働く人の工夫や思いを学ぶ学習です。1クラスを2グループに分け、バックルーム見学と、店内の見学を順番に行いました。普段は入れないバックルームでは、魚をおろしている様子や、肉の重さを計って値段シールを貼る機械を見せていただきました。また、冷凍庫、冷蔵庫の庫内に入らせていただき、品物ごとに保管する場所を変えていること、品質が落ちないように工夫していることなどを学びました。また店内の見学では、日頃何気なく見ている商品の並べ方にも様々な工夫があることを、教えていただきました。



浄水場見学

7月7日(火)に「水はどこから」の学習で高台第一浄水場に4年



生が見学に行きました。開成町の水道水は、100%地下水であるということ、みなさんご存じですか?そのため開成町の浄水場は、他地区の浄水場と違って、大掛かりな設備が必要なく、消毒液も少なく済みます。蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水ですが、実際に浄水場を見学し、その裏側にある工夫や努力をについて、学ぶことができました。出来立ての水を飲ませてもらい「おいしい!」と目を輝かせていました。

校長室の窓から

先日水戸へ行く機会がありました。一人での旅行は、緊張感もありますが気ままなワクワク感があります。私は歴史にまつわる所をめぐるのが大好きなので、まずは水戸城へ行きました。百名城にも選ばれていますが、石垣ではなく土塁と空堀という戦国期の特徴を残すお城です。次に弘学館へ行きました。水戸の第9代藩主、徳川斉昭が作った藩校です。ガイドの方に説明をしていただきながら、丁寧に見学しました。城内の一等地にあった家臣達の住居を移転させ、跡地に広大な学校を作ったというエピソードから、「世界情勢が不安定になってきた時代をのりこえるためには、優秀な人材を育成することこそが大切である。」という斉昭公の強い思いを感じました。教育に携わる人間として、その思いに大いに共感し、勇気づけられました。また、日本三名園に数えられる水戸の偕楽園が、実は教育施設の一環として作られたということを初めて知りました。弘学館には「一張一緩」という言葉があります。学問や武芸で厳しく鍛える(張)と偕楽園で民を休養させ、心を和ませる場を提供する(緩)が大切であるという考え方です。これは、現在も同様です。明日からの夏休みが、子どもだけでなく大人にとっても、よい「緩」の時間となることを願っています。

